科目名	デザイン研修１							年度	2025
英語科目名	Design Training 1							学期	通年
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻　１年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	櫻井智香子、永岡真依	教員の実務経験		有	実務経験の職種		グラフィックデザイナー、クラフト作家		

【科目の目的】

研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げる。

【科目の概要】

学校・カレッジ・学科が実施計画したデザイン研修内容が発表されたのち、オリエンテーションを実施。
その後担任へ参加申込を行うというプロセスを経て、説明会及び勉強会に参加後、デザイン研修に参加する。
研修を行う地域(国)および実施概要は、オリエンテーション時に詳細を伝える。

【到達目標】

訪問する地域・施設・文化の中で行われる見学や交流プログラム、制作体験などを通じて、業界で必要な言語や地域を越えてのデザインの役割やコミュニケーションの大切さを習得する。
A. 知識力/研修先の地域や文化の知識を習得する
B. 遂行力/研修までのスケジュール管理ができるようになる
C. 社会性/主体的に参加し、グループ行動における役割を見出すことができる

【授業の注意点】

参加希望を保護者同意のうえ、決定したら申込期日までに申し込むこと。事前研修への参加もすること。終了後は速やかにレポート提出をすること。研修期間中は集団行動のルールを守ること。現地で体験したことを記録する。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている		レベル３ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	研修先の地域や文化の知識を十分に理解している		研修先の地域や文化の知識を理解している		研修先の地域や文化の知識を理解していない
到達目標 B	研修までのスケジュールを十分に管理し、目標を立てて行動を続けることがができる		研修までのスケジュールを管理し、目標を立てて行動をすることがができる		研修までのスケジュール管理や目標を立てて行動をすることができない
到達目標 C	研修に主体的に参加し、グループ行動において率先して行動をすることができる		研修に参加し、グループ行動において迷惑を掛けずに行動をすることができる		研修に参加できず、グループ行動において周囲に迷惑をかけてしまう

【教科書】

なし

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

研修旅行への参加：50%
課題・レポート：30%　事前勉強会等での提出物
平常点：20%　研修時の態度、勉強会への参加

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	デザイン研修１	年度	2025
英語表記	Design Training 1	学期	通年

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前説明会	研修の内容について	1	研修内容	研修内容について理解する	2	
			2	締切	申込等の締切について理解する		
2	事前勉強会1	事前勉強会1	1	スケジュール管理	研修までのスケジュールを管理することができる	2	
			2	コミュニケーション	グループでのコミュニケーションを取ることができる		
3	事前勉強会2	事前勉強会2	1	スケジュール管理	研修までのスケジュールを管理することができる	2	
			2	コミュニケーション	グループでのコミュニケーションを取ることができる		
4	研修1	研修1	1	感動	研修を通して未知の感動を経験する	2	
			2	視野を広げる	研修を通してデザイナーとしての視野を広げることができる		
			3	グループ行動	グループの中での役割を見出すことができる		
5	研修2	研修2	1	感動	研修を通して未知の感動を経験する	2	
			2	視野を広げる	研修を通してデザイナーとしての視野を広げることができる		
			3	振り返り	レポートを提出する		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等